

フォーラム

食の安全・安心

と

グリーンツーリズム

期 日 **9月25日(金) 13:00~16:30**

場 所 酪農学園大学 学生ホール (中央館1F) 江別市文京台緑町582番地

挨拶 酪農学園大学学長 谷山 弘行

パネラー発表

- 1) 北海道のグリーンツーリズムの実態と展望
拓殖大学北海道短期大学 橋本 信
- 2) 農産物産直運動に参加して(名川チェリーセンターの取り組み)
青森県南部町 田中 久子
- 3) 湯浅ファームのグリーンツーリズムの取り組み
北海道新得町 湯浅 優子
- 4) 牧場公開と乳製品加工・教育ファームへの取り組み 一牧場は教室一
北海道帯広市 広瀬 文彦
- 5) 安全・安心な肉牛生産への取り組みと消費者交流
北海道芽室町 柏葉 晴良

パネルディスカッション

コーディネーター

地域拠点型農学エクステンションセンター(酪農学園大学) 須藤 純一

参加申し込み & 問い合わせ先

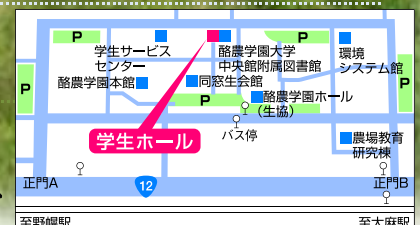
9月15日までにFaxまたはE-mailでお申し込み下さい Fax:011-388-4901

地域拠点型農学エクステンションセンター

E-mail: foodsafes@rakuno.ac.jp

主催 地域拠点型農学エクステンションセンター、(財)都市農山漁村交流活性化機構

後援 北海道、JA北海道中央会、北海道地域農業研究所、北海道新聞社、
日本農業新聞社北海道支所、コープさっぽろ、酪農教育ファーム北海道推進委員会、
北海道ツーリズム協会、農山漁村文化協会、酪農学園ミルク産業活性化推進会議



フォーラム講演者のプロフィール

橋本 信 (はしもとまこと) 氏 略歴

1949年6月	北海道名寄市生まれ
1984年3月	北海道大学文学研究科哲学専攻博士課程満期退学
1987年	北海道拓殖短期大学(現 拓殖大学北海道短期大学) 助教授
2000年	拓殖大学北海道短期大学教授
2009年	拓殖大学北海道短期大学環境農学学科長 研究のキーワードを民衆・地域・哲学に定め、グリーンツーリズムの取組に深く関わっている
2004年	「そらちDEいい〜ね」アドバイザー
2005年	第3回全国グリーン・ツーリズムネットワーク北海道大会コーディネーター

田中 久子 (たなかひさこ) 氏 略歴

	青森県三戸郡南部町生まれ、「梅」及び「さくらんぼ」を主体とした農業経営を行う
1991年	名川チェリーセンターの設立に伴い、その運営主体である「名川チェリーセンター101人会」に参画、副会長に就任
1993年	農家民宿を始める
2008年	地元「達者村ホームステイ連絡協議会」の副会長に就任、現在に至る

湯浅 優子 (ゆあさゆうこ) 氏 略歴

1974年	東京より農業実習生として新得町へ
1975年	地元酪農家と結婚以来酪農経営に従事 飼養牛55頭(作乳牛40頭) 牧草地55ha(放牧20ha) 放牧中心の牛乳生産
1996年8月	ファームイン「つつちゃんと優子の牧場のへや」開業

広瀬 文彦 (ひろせふみひこ) 氏 略歴

1952年	帯広市生まれ 酪農家の2代目
1991年	フリーストール方式に移行、見学室付きミルクングパーラーを建設し消費者交流を積極的に行う
1999年	酪農教育ファームの認定 ジェラートショップをオープン 地域交流牧場合同連絡会の会長(2009年5月まで)
2005年	現在まで酪農教育ファーム北海道推進委員会の委員長を務める 帯広市農業委員

柏葉 晴良 (かしわばはるよし) 氏 略歴

1956年	芽室町生まれ
1973年	酪農畑作複合経営から肉牛飼養(アンガス牛)を開始する その後ホル種哺育育成に転換
1993年	消費者の食肉の安全のため抗生物質フリーの飼料給与開始(肥育牛)
1994年	ファームイン用のログハウス建築
2002年	非遺伝子組み換え飼料給与100%開始

参加申込書

フォーラム「食の安全・安心とグリーンツーリズム」に、参加を申し込みます。

氏名	住所	電話番号	所属

9月15日までにFaxまたはE-mailで、下記へお申し込み下さい。

地域拠点型農学エクステンションセンター Fax : 011-388-4901 Email : foodsaf@rakuno.ac.jp

地域拠点型農学エクステンションセンターは、2008年10月に酪農学園大学(代表校)、北海道大学、帯広畜産大学が連携して設立したもので、事務局を酪農学園大学に設置しています。その目的は「食の安全・安心の基盤としての教育研究システムのネットワーク形成」であり、新しい教育プログラムの構築と地域農業の総合的支援システムの確立を目指しています。